

## ⑧ 西深井北西部



新川耕地の水田地帯は「葛飾早稲」の発祥の地でもあり、古くから良好な水田地帯として様々な動植物が観察されている。江戸川河川事務所が管理する国有地のヨシ原で、希少種のヨシゴイやカヤネズミが繁殖していたが、近年はヨシ原の面積が減少しているため、生息が危ぶまれている。

環境タイプ

草地 水田 斜面林  
ヨシ原 畔 用水路

(地権)

公有地

(所管)

国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所

(市民的視点)

水田地帯であるため、憩いの場としての利用や散策するための立入りは少ない。また、近くに大規模物流倉庫等の建設もあり、自然環境というイメージはあまりない。

(評価結果)

【○】

大規模物流倉庫等の建設に伴う草刈り等の人為的影響が大きく、また国や千葉県が所管していることから積極的な保全があまり期待できない。しかし、流山市の中でも希少な生物を観測出来る地点であるため、所管組織と協議して、草刈りの頻度、範囲、程度等を調整してもらえる可能性がある。